

令和元年度 第1回 安曇野市まちづくり推進会議（推進委員会） 会議概要

- 1 会議名 令和元年度 第1回 安曇野市まちづくり推進会議（推進委員会）
- 2 日 時 令和元年8月8日（木） 午後3時00分から午後4時30分まで
- 3 会 場 本庁舎 3階 会議室305
- 4 出席者 中楨委員、吉原委員、田村委員、熊井委員、沼尾委員、磯野委員、  
大澤委員、内田委員、川井委員、丸山委員（瀧澤委員代理）
- 5 市側出席者 宮澤市民生活部長、山田地域づくり課長、青柳まちづくり推進係長、  
土屋地域おこし協力隊
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人 1人 記者 3人
- 8 会議概要作成年月日 令和元年8月20日

協 議 事 項 等

1 会議の概要

委嘱書交付

- (1) 開会
- (2) あいさつ
- (3) 報告
  - (1) 支え合い助け合い地域社会の構築に向けた提言について
- (4) 協議
  - (1) 区の意義や重要性の理解促進について
    - ア 課題の精査
    - イ ワーキンググループの構成について
    - ウ ワーキンググループにおける今後の研究・検討について
- (5) その他
- (6) 閉会

## 2 会議事項概要

### 委嘱書交付

(1) 開会（進行：副会長）

(2) あいさつ（会長）

(3) 報告

【事務局】 支え合い助け合い地域社会の構築に向けた提言について説明。

【会長】 事務局より説明をいただいた。これについて何か質問はありますか。（質問なし）  
それでは、次（4）の協議に移ります。

(4) 協議

【事務局】 区の意義や重要性の理解促進について説明。

【会長】 事務局より説明をいただいた。これについてご意見・ご質問があればお願いしたい。

【委員】 区長会マスコットキャラクター名称募集の周知はどのようにしたのか。

【事務局】 プレスリリース、市民タイムス・MGプレスへの掲載、区の公民館、市役所庁舎、支所、市の広報紙、市HPで周知した。

【委員】 子ども達に親しんでもらう為に学校への周知も必要と考えるが。

【事務局】 小中学校へも配布予定であったが予算上の事もあり断念した。区では夏休みの行事等ありその際に周知してもらうこととした。

【会長】 真々部区では区の広報紙でも広報していた。現在募集期間中ではあるが反響はどうですか。

【事務局】 現在8歳から80歳まで10件応募があった。

【委員】 加入世帯数は若干増えているが加入率は落ちているということの説明の中で、親子世帯の話があったが、一つの世帯と数えるのか別々の世帯と考えるのか区の加入という点から見た場合、子世帯の分を加入率が落ちたと見るのかそういった点で議論されたことがあるのか。

【事務局】 親子世帯の数え方に関して各区でそれぞれの判断で数えている。市では、住民基本台帳の世帯数を分母に加入率というものを出力してきたが、加入率に捕われず加入世帯数を重要視していきたい。

【委員】 親子世帯の数え方に関して、親子で一世帯と数えるのは家族が一つにまとまっているという観点からすればよいことである。

【会長】 捉え方をしっかりしないといけない。折角努力した成果が数値に反映されるように配慮して欲しい。〇〇委員はどうですか。

【委員】 区長をしていた時、同一敷地内での親子世帯の数え方については議論があった。区長任期の件もあり難しい問題であった。

【会長】 ケースバイケースで判断しなければいけない問題でもある。

【委員】 全般的にそんなに加入率下がってはいないが、穂高地域では低く、下がっている理由というのは。また、アンケートでは、未加入の理由があったが、課題に対してどう取り組みしていくか解決策についての記載が欲しい。

【事務局】 穂高地域の中でもばらつきがあるが、別荘地がある有明地区の加入率が低いという傾向がある。転入者が多い地域でも今後検討していく中でご指導いただきたい。

【事務局】 転入手続きをした方はわかるが、その後区に加入したかはわからない。区長会の専門部会で未加入について検討してきた。その中で、加入促進のために区長会、区、市でできることを検討してきた。今後WGの中で、根本的な解決策を全市的な観点で探していきたい。

【委員】 昔に転入してきた人は、転入時に区に加入しないとそのままになってきている。区で熱意を持って対応すれば、今後転入してくる人に対しては、変えていけるのではないかと思う。

【委員】 安心安全部ができた区の数ほどくらいか。

【事務局】 部制度を導入した33区である。

【委員】 穂高地域で加入率が低い、28年度に区長をした際にも大きな課題であった。地域区長会でも検討し、取り組んだが効果が薄かった。区長の任期が一年だと活動の継続

性がなく引継ぎが大きな課題であった。長期間に及ぶ活動に対して任期は重要だと思うので検討課題の一つであると思う。区長OB会でも話題になったが宅建協会の協力を得て、勧誘する人の漏れがなくなったと思うが、高齢化に伴う役員ができないという理由での脱会者が多くなった。これに対し、どう対応していくか大きな課題だと思う。

【会長】課題の精査で他にご意見はあるか、なければWGの構成について事務局より説明をお願いします。

【事務局】WGの構成について説明。

【委員】WGの検討項目が、区の意義や重要性の理解促進であるのに、加入率に拘っている印象を受ける。加入率は、一つの指標に過ぎない事を踏まえて議論しなければいけないと思う。加入率を上げるための方法論・技術論の議論になる心配がある。目的と手段をしっかり理解した上で取り組まないと加入率を上げるだけの提案を受けるだけになってしまう虞がある。

【事務局】区長会でも3年程加入促進について議論してきた。最初は加入率を上げようとするための方策について話していたが、途中から、区の意義を理解した上で、加入して、良い事も悪い事も皆でわかちあって地域を作っていこうという話になった。その結果、加入率が上がっていくのではないかという議論になった。WGでも同様にそういう観点から話をしていきたいと考えている。

【事務局】市から2つのテーマについて推進会議に投げかけられた。最初に、「全市的な見守り、支え合い、助け合いの仕組みづくり」について議論をすることにより、結果として「区の意義や重要性の理解促進について」にもつながるのではないかという意見があった。

【委員】全国の加入率低い自治体の事を調査している。24%台の市もある中で、安曇野市の74%はすごく高い。加入率が低い自治体は、区に依存しないで地域運営しているとも取れる。加入率低いところもあるという事も念頭に入れて議論して欲しい。

【事務局】加入率ではなく、本質的な区の在り方について、WGの時にしっかりと話をしていきたい。

【会長】自治基本条例の中に区の位置づけがなされているが、低い自治体の中では区というものはどういう位置づけになっているのか。

【委員】地域を考えると他に方法を考える必要があると思う。区への期待というものをしていないという、やり方はそれぞれあると思う。市でも広報の配布方法を変えたが、区長の負担軽減につながったとも思う。何が何でも区でやるということに拘ることなく議論をしていって欲しいと思う。

【会長】構成員についても何か意見ありますか。

【委員】協働のまちづくりを進めていく中で、区というのはとても重要であると思う。加入率に拘らず地域性や区のあり方を考えて欲しい。

【会長】市区長会選出委員である〇〇委員の意見は。

【委員】高齢なために回覧版を回す事も難しいので区を抜きたいと申し出た例を聞いた。自分から言い出したのか周りから言われたのかわからないが後者であれば問題である。役員が務まらないから区を抜けていくというような事にならないようにしていければと思う。

【会長】他に何かありますか。

【事務局】構成員の候補についてご承認いただきましたが、市長の判断で構成員が変わる可能性もあるということをご了承ください。

【会長】今後について事務局より説明をお願いします。

【事務局】WGの構成員が決まったところで皆様に報告していきます。WGは、9月下旬にも開催出来ればと考えております。

【会長】意見はありますか。無い様なので、事務局に一任します。その他について事務局より何かありますか。

【事務局】事務局からは特にありません。

【会長】次第5その他について事務局より説明をお願いします。

**【事務局】** 次回会議は12月を予定している。進捗状況等を説明・報告する予定。

**【会長】** この件について質問ありますか。他に全体を通して質問ありますか。ないので今日はこれまでとします。

**【副会長】** 以上を持ちまして本日の会議を終了します。慎重な審議ありがとうございました。